



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月5日

上場会社名 株式会社サックスバー ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 9990 URL <http://www.sacs-bar.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長執行役員（氏名） 木山 剛史
問合せ先責任者（役職名） 取締役専務執行役員（氏名） 山田 陽（TEL）03-3654-5315
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家及びアナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	24,531	△3.9	1,368	△28.4	1,418	△27.3	860	△30.1
2025年3月期中間期	25,514	1.3	1,911	9.9	1,949	9.4	1,231	7.1

（注）包括利益 2026年3月期中間期 855百万円（△30.5%） 2025年3月期中間期 1,231百万円（7.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	29.63	—
2025年3月期中間期	42.40	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	40,295	29,525	73.3
2025年3月期	40,313	29,541	73.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 29,525百万円 2025年3月期 29,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	35.00	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	50,649	△3.1	2,906	△28.1	2,973	△28.0	1,843	△27.6

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	29,859,900株	2025年3月期	29,859,900株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	803,814株	2025年3月期	803,764株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	29,056,096株	2025年3月期中間期	29,056,143株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2025年11月26日（水）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算補足説明資料については、同日、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(1) 当中間期の経営成績の概況・・・・・・・・	2
(2) 当中間期の財政状態の概況・・・・・・・・	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明・・・・・・・・	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記・・・・・・・・	4
(1) 中間連結貸借対照表・・・・・・・・	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書・・・・・・・・	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項・・・・・・・・	9
(継続企業の前提に関する注記) ・・・・・・・・	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) ・・・・・・・・	9
(セグメント情報) ・・・・・・・・	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く、景気は緩やかな回復基調が続きました。一方、米国の関税政策、長期化するウクライナや中東の情勢不安、中国経済の停滞等により、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

流通業界におきましては、円安、原材料価格やエネルギー価格の高騰等による物価上昇が賃金の伸びを上回り、消費者の生活防衛意識がますます高まり、消費行動は慎重さを増しております。また、消費を押し上げる一因であったインバウンド需要も、特に過熱感のあった高額品を中心に勢いにやや陰りが見えてきました。さらに、人手不足、人件費等の上昇もあり、厳しい経営環境が続きました。

当中間連結会計期間の売上高は24,531百万円(前年同期比3.9%減)となり、売上高の減少に伴い、営業利益は1,368百万円(前年同期比28.4%減)、経常利益は1,418百万円(前年同期比27.3%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は860百万円(前年同期比30.1%減)となりました。

なお、当社グループの報告セグメントは、鞆・袋物を核とする商品販売の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

事業部門ごとの状況は、以下のとおりであります。以下の数値につきましては、事業部門内の取引消去後かつ事業部門間の取引消去前のものを記載しております。

＜小売事業等＞

小売事業につきましては、8店舗の新規出店を行なうとともに、11店舗の退店を行ない、当中間連結会計期間末の店舗数は570店舗となりました。また、8月には韓国等の海外への卸売販売を開始しました。

売上につきましては、内需が弱含みで推移したうえにインバウンド売上が鈍化し、既存店売上高前期比が2.7%減とやや低調となり、当中間連結会計期間末の店舗数が前年同期末比で10店舗減少したこともあり、当事業部門の売上高は22,614百万円(前年同期比3.8%減)となりました。プライベートブランド(PB)及びナショナルプライベートブランド(NPB)は店舗での取組みの強化、キャラクターコラボ商品等の拡充により売上が伸長し、前年同期比5.6%増となりました。雑貨は、アクセサリーはやや低調に推移しましたが、傘やキャラクター雑貨等が非常に好調に推移して前年同期比13.9%増となりました。ハンドバッグは皮革製品の需要の減少傾向に加えて猛暑の影響もあり、販売点数が大幅に減少し、前年同期比21.2%減となりました。インポートバッグは円安により取扱いを大幅に縮小したため、前年同期比17.8%減となりました。カジュアルバッグは、PBでの同種商品の取扱いが増加したため、前年同期比10.6%減となりました。トラベルバッグはPB、NPBでの同種商品の取扱いの拡大に加えて、メンズバッグ、財布とともにインバウンド売上の鈍化の影響もあり、販売点数が減少し、それぞれ前年同期比11.3%減、4.4%減、6.4%減となりました。

売上総利益率は、粗利益率の高いPB及びNPBの売上伸長があったものの、粗利益率の低いキャラクター雑貨の売上が大幅に伸長し、また、PBを中心として販売促進のための割引セールを積極的に行なったため、前年同期比0.2ポイント低下して50.2%となりました。販売費及び一般管理費率は、売上高の低下に伴い、前年同期比1.6ポイント増加して45.0%となりました。

＜製造・卸売事業＞

製造・卸売事業につきましては、主力商品であるキャリーケースのうち、キャラクターのキャリーケースの売上が伸長したものの、インバウンド需要の鈍化の影響を強く受けて、高額ブランドのキャリーケースの売上が大幅に減少しました。

この結果、当事業部門の売上高は2,296百万円(前年同期比6.2%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて18百万円減少し、40,295百万円となりました。これは主に、商品及び製品が142百万円増加、有形固定資産が1,521百万円増加した一方で、現金及び預金が495百万円減少、受取手形及び売掛金が923百万円減少、繰延税金資産が158百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて1百万円減少し、10,770百万円となりました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定を含む)が300百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が60百万円減少、未払法人税等が173百万円減少、その他流動負債が68百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて16百万円減少し、29,525百万円となりました。これは主に、剰余金の配当871百万円による減少、親会社株主に帰属する中間純利益860百万円の計上等によるものであります。

(自己資本比率)

当中間連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末と同率の73.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて504百万円減少し、5,229百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前中間連結会計期間に比べて55百万円収入が減少し、1,932百万円のプラスとなりました。主な収入要因は、税金等調整前中間純利益の計上額1,388百万円、売上債権の減少額923百万円であります。一方、主な支出要因は、棚卸資産の増加額140百万円、法人税等の支払額531百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前中間連結会計期間に比べて1,564百万円支出が増加し、1,808百万円のマイナスとなりました。主な支出要因は、新規出店及び改装、本社用ビルの取得等に伴う設備投資1,746百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前中間連結会計期間に比べて343百万円支出が減少し、627百万円のマイナスとなりました。主な収入要因は、長期借入れによる収入400百万円であります。一方、主な支出要因は、長期借入金の返済による支出100百万円、配当金の支払額870百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向などを踏まえ、2025年5月12日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2025年11月5日)公表いたしました「2026年3月期第2四半期(中間期)の業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,775,345	5,280,209
受取手形及び売掛金	4,224,725	3,301,464
商品及び製品	12,484,942	12,627,055
原材料及び貯蔵品	26,141	24,384
その他	310,050	211,364
流動資産合計	22,821,204	21,444,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,680,253	3,242,637
土地	1,570,381	2,533,302
リース資産(純額)	340,566	377,775
建設仮勘定	863,847	804,951
その他(純額)	172,843	190,230
有形固定資産合計	5,627,892	7,148,897
無形固定資産	147,274	134,793
投資その他の資産		
投資有価証券	4,376,931	4,385,645
退職給付に係る資産	55,057	43,365
繰延税金資産	1,193,683	1,034,835
敷金及び保証金	5,615,359	5,604,900
その他	482,721	505,091
貸倒引当金	△6,453	△6,453
投資その他の資産合計	11,717,299	11,567,385
固定資産合計	17,492,466	18,851,076
資産合計	40,313,671	40,295,554

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,272,266	3,211,641
1年内返済予定の長期借入金	200,000	100,000
リース債務	149,631	146,116
未払法人税等	562,754	389,552
賞与引当金	415,236	433,301
役員賞与引当金	49,100	27,300
株主優待引当金	39,300	6,138
その他	1,828,720	1,759,919
流動負債合計	6,517,008	6,073,970
固定負債		
長期借入金	800,000	1,200,000
リース債務	250,055	282,741
役員退職慰労引当金	174,448	171,381
退職給付に係る負債	1,376,529	1,375,838
繰延税金負債	14,985	15,353
資産除去債務	1,333,653	1,315,239
その他	305,204	335,604
固定負債合計	4,254,878	4,696,157
負債合計	10,771,886	10,770,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,986,400	2,986,400
資本剰余金	4,569,597	4,569,597
利益剰余金	22,405,561	22,394,669
自己株式	△483,447	△483,488
株主資本合計	29,478,111	29,467,178
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21,274	△25,612
退職給付に係る調整累計額	84,947	83,859
その他の包括利益累計額合計	63,672	58,247
純資産合計	29,541,784	29,525,426
負債純資産合計	40,313,671	40,295,554

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	25,514,494	24,531,924
売上原価	12,831,949	12,318,017
売上総利益	12,682,544	12,213,906
販売費及び一般管理費	10,770,562	10,845,510
営業利益	1,911,982	1,368,396
営業外収益		
受取利息	41,347	46,304
受取配当金	1,633	1,975
受取手数料	2,928	2,742
その他	13,525	16,708
営業外収益合計	59,434	67,730
営業外費用		
支払利息	11,454	13,942
貸倒引当金繰入額	6,453	—
その他	3,843	3,813
営業外費用合計	21,751	17,755
経常利益	1,949,664	1,418,371
特別損失		
固定資産除却損	14,407	26,468
店舗閉鎖損失	1,286	—
減損損失	6,258	3,366
特別損失合計	21,952	29,834
税金等調整前中間純利益	1,927,712	1,388,537
法人税、住民税及び事業税	443,063	366,079
法人税等調整額	252,800	161,664
法人税等合計	695,864	527,744
中間純利益	1,231,848	860,792
親会社株主に帰属する中間純利益	1,231,848	860,792

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,231,848	860,792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,684	△4,337
退職給付に係る調整額	1,926	△1,087
その他の包括利益合計	△757	△5,425
中間包括利益	1,231,090	855,367
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,231,090	855,367
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,927,712	1,388,537
減価償却費	293,257	282,840
減損損失	6,258	3,366
のれん償却額	18,917	16,450
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,453	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,531	18,064
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,950	△21,800
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△9,262	△3,067
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17,747	△691
受取利息及び受取配当金	△42,980	△48,280
支払利息	11,454	13,942
固定資産除却損	14,407	26,468
売上債権の増減額(△は増加)	1,229,711	923,260
棚卸資産の増減額(△は増加)	△175,294	△140,874
仕入債務の増減額(△は減少)	80,221	△60,624
未払消費税等の増減額(△は減少)	△351,488	33,250
未払金の増減額(△は減少)	△244,106	△24,393
未払費用の増減額(△は減少)	△287,613	△76,056
その他	△19,575	114,603
小計	2,462,401	2,444,995
利息及び配当金の受取額	42,980	32,512
利息の支払額	△11,454	△13,942
法人税等の支払額	△506,536	△531,343
法人税等の還付額	215	41
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,987,606	1,932,263
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,000	△9,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△189,721	△1,746,787
有形固定資産の除却による支出	△45,212	△37,836
関係会社株式の取得による支出	—	△15,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△243,934	△1,808,623
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	—	△100,000
割賦未払金の増加額	96,251	106,764
割賦未払金の減少額	△90,668	△76,975
リース債務の返済による支出	△107,192	△87,461
自己株式の取得による支出	△42	△41
配当金の支払額	△869,892	△870,002
財務活動によるキャッシュ・フロー	△971,544	△627,715
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33	△60
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	772,094	△504,136
現金及び現金同等物の期首残高	4,139,545	5,733,344
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,911,640	5,229,208

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社グループの報告セグメントは、鞆・袋物を核とする商品販売の単一セグメントであるため、セグメント情報について記載しておりません。